

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

ノーメディアデー着々浸透中

ご協力に感謝いたします

第2回ノーメディアデーのアンケート調査の結果がまとまりましたので、以下の通り報告いたします。

	1年	2年	3年	全体
◎しっかり取り組めた	13%	29%	25%	22%
○だいたい取り組めた	62%	58%	48%	56%
△あまり取り組めなかった	17%	12%	19%	16%
●取り組めなかった	8%	1%	8%	6%
回答数	86人	94人	85人	265人
回答率	69%	71%	63%	68%

☆☆☆☆自由記述より☆☆☆☆

【1学年】

◎学校の取り組みだと決まっているので、素直に取り組めるようで良かったです。

○LINEのやりとりがなかったことで、静かな時間を過ごすことが出来ました。平日も継続できれば集中力が上がるのでは？と思いました。

○スマホは電源を切り父親に預けました。そうしたことにより、集中して学習に取り組めたと思います。

○リビングで勉強しているので、親もなるべくテレビをつけないように気をつけました。自室で勉強してくれると良いのですが…。

△リビングのテレビがずっと流れているので、どうしても気になってしまうようです。親の私たちも意識して取り組みを守りたいと思います。

●テスト勉強の意味がわかっていない。宿題をすれば終りだと思っている。結局空いた時間をメディアに使うことになった。小学校と違うことをわかってほしい。

【2学年】

◎自分の意思でスマホを親に預け、学習に集中出来たのはとても良かったと思います。

◎本人はもちろん、家族みんなが「テスト前はノーメディアデー」という意識を持つようになりました。

◎今の子どもたちは、なんと多くの通信機器に囲まれているか、ノーメディアデーのたびに実感させられます。メディアがなければ不便ですが、振り回されることのないよう上手に関わってほしいです。

○小中連携の取り組みというところがいい。回数を増やしてもいいのでは…と親は思うのですが。

○テスト勉強への意欲が出たのか、ほとんど声かけしなくてもノーメディアで過ごせたのではないかと思います。やはり、集中力に差が出ることを実感したので、とても良い取り組みだと思います。

△毎回何度注意してもゲームが止められません。勉強もちゃんとしているようですが、中学生なので機器を取り上げる方法ではなく、何とか自分で我慢できるようにしてほしいと思っているのですが…

●今の時代、ノーメディアは無理。大人から出来ますか？出来ないことを子どもにやらせないで。

【3学年】

◎小学生の妹に合わせて、1週間ほぼノーメディアで過ごしました。

○日常の一部となったメディア関係ですが、一つの電源を切るだけでも違う時間が過ごせることがわかり、大切なことなんだと親子で実感しました。

○子どもだけでなく親もテレビをつけない、スマホは必要などきのみ使用するよう心がけ、親子で取り組みが出来たことが良かったと思います。受験に向けて習慣化していきます。

△頑張っ取り組もうという気持ちはあったようですが、高校生の兄弟が使用していると、ついつい使ってしまう。なかなか難しい感じでした。

●声がけして意識させたが、どうしてもタブレットに手をかけ、ゲームや動画を見るが多かった。

☆さらに充実した取り組みになるよう、本取り組みへのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。



遠足？いやっかと勉強してきました

7月9日(火)に1年生が平泉に、10日(水)に2年生が沿岸部の被災地に行ってきました。遠足ということになってはいますが、その内容はけっこう重く、とても意義深い学習活動が盛り込まれていました。

2年生は、事前学習として宮城県の名取市から震災の語り部として活動されている方をお招きし、お話を聞いていました。1年生は、中尊寺、毛越寺を回って藤原氏の浄土への思いに触れ、最後は座禅体験で心を清めてきました。



※当時中1の息子さんと義理のご両親を亡くしている関上中学校遺族会代表の丹野祐子さんのお話は、心に深く染み渡りました。



私は1年生の遠足をちょっとのぞきに行くことが出来ましたが、その立派な態度に深く感銘を受けました。話を聞く態度、ピシッとそろえられた靴とザック、背筋がしっかりと伸びた座禅等々、1年生のもつ資質の良さを改めて知ることが出来、とても嬉しくなりました。残念ながら2年生にはついて行くことが出来ませんでした。無事帰ってきて到着式に真剣な姿勢で臨む姿から、研修がとても充実したものであったことがうかがい知ることが出来ました。

学校行事の成否は、8割方事前の取り組みで決まります。生徒たちが真剣に事前学習に取り組んでいたこと、それが可能となるように先生方がしっかりと準備し、的確に指導していたことがよくわかりました。今回の成果がどのような形でまとめられるのか、今から楽しみにして待ちたいと思います。

素晴らしい演奏を披露しました

7月6日(土)、一関文化センターで全日本吹奏楽コンクール県南大会が行われました。胆沢中学校は、課題曲と「聖徳太子の地球儀～斑鳩寺に鎖された記憶～」の2曲を披露し、聴衆を大いに魅了しました。特に2曲目は壮大かつ荘厳な曲で、随所にソロパートがふんだん且つ効果的にちりばめられ、私は終始わくわくしながら楽しく聴くことが出来ました。

惜しくも県大会出場はかないませんでした。生徒たちの演奏後のやりきった感あふれる表情がとてもすがすがしく、今まで頑張ってきたことへの様々な思いが私にまで伝わってくるような感じがしました。吹奏楽部の皆さんには、壮行式などでも演奏してもらい、いつもたくさんの勇気をもらっています。次の演奏を聴く機会(文化祭?)が楽しみです。



避けられない老いについて考える

塩飽先生の3年B組の家庭科の授業を参観させてもらいました。加齢性難聴のお年寄りに対して、「わかりやすく伝える方法を考えよう」が学習課題でしたが、その設定に至るまでの過程で生徒に課題に向き合う必要性を持たせる工夫が随所になされており、インターネットや的確な資料の提示を駆使して、生徒の学習意欲をしっかりと引き出していたとても素晴らしい授業でした。ゲストティーチャーとしてやまゆり荘の職員の方にもご協力をいただきました。お忙しい中、大変ありがとうございました。



☆地区懇談会でお配りした資料に不備がありました。訂正したものを裏面に掲載しておりますので、ご確認をお願いいたします。